

20 値 建 第 355 号
平成 20 年 10 月 17 日

国土交通省道路局長 殿

小値賀町長 山田憲道



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

標記につきまして、別添のとおり提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

要望)

離島であるが自動車の普及により道路整備は必要です。車道は2車線ではなく1.5車線を、学童の通学路は1.5～2.0mを実施し、また、高齢化社会を迎え、小規模なバリアフリー化の事業も実施したいのですが、現在の採択要件では整備が難しいので、採択要件の緩和を要望します。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状

・迂回路のない集落へ繋がる一本道の町道があるが、降雨時、土砂の崩落や落石があり危険である。

○課題

・落石対策等の災害防除事業を行いたい、補助事業がなく苦慮している。

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

今後は、住民の高齢化に備えて、バリアフリー（道路の手摺、段差対策等）を重点的に整備したい。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施設の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事項	○期待する効果や評価等	○その他
・高齢化社会に 対応した子育て環境 バリアフリー社会の 形成	町道敷地内の階段への手摺設置 勾配の急な町道への手摺設置	道路上での高齢者の事故の防止	